

九重山の火山活動解説資料（平成 26 年 2 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 2 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 2-①③）

噴煙活動は低調で、白色の噴煙が高さ 100m 以下で経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2-②④、図 3）

火山性地震の月回数は 9 回（1 月：13 回）と少ない状態で経過しました。

震源は、星生山の東側方向の海拔下約 4 km と南側方向の海拔下約 1 km でした。

火山性微動は 2006 年 10 月以降、観測されていません。



図 1 九重山 噴煙の状況（2 月 23 日、上野遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 3 月分）は平成 26 年 4 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、大分県及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

・地殻変動の状況（図 5、図 6）

GNSS¹⁾ 連続観測では、一部の基線（坊ガツルー牧ノ戸峠、星生山北山腹ー坊ガツル）で、わずかに伸びの傾向が認められます。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

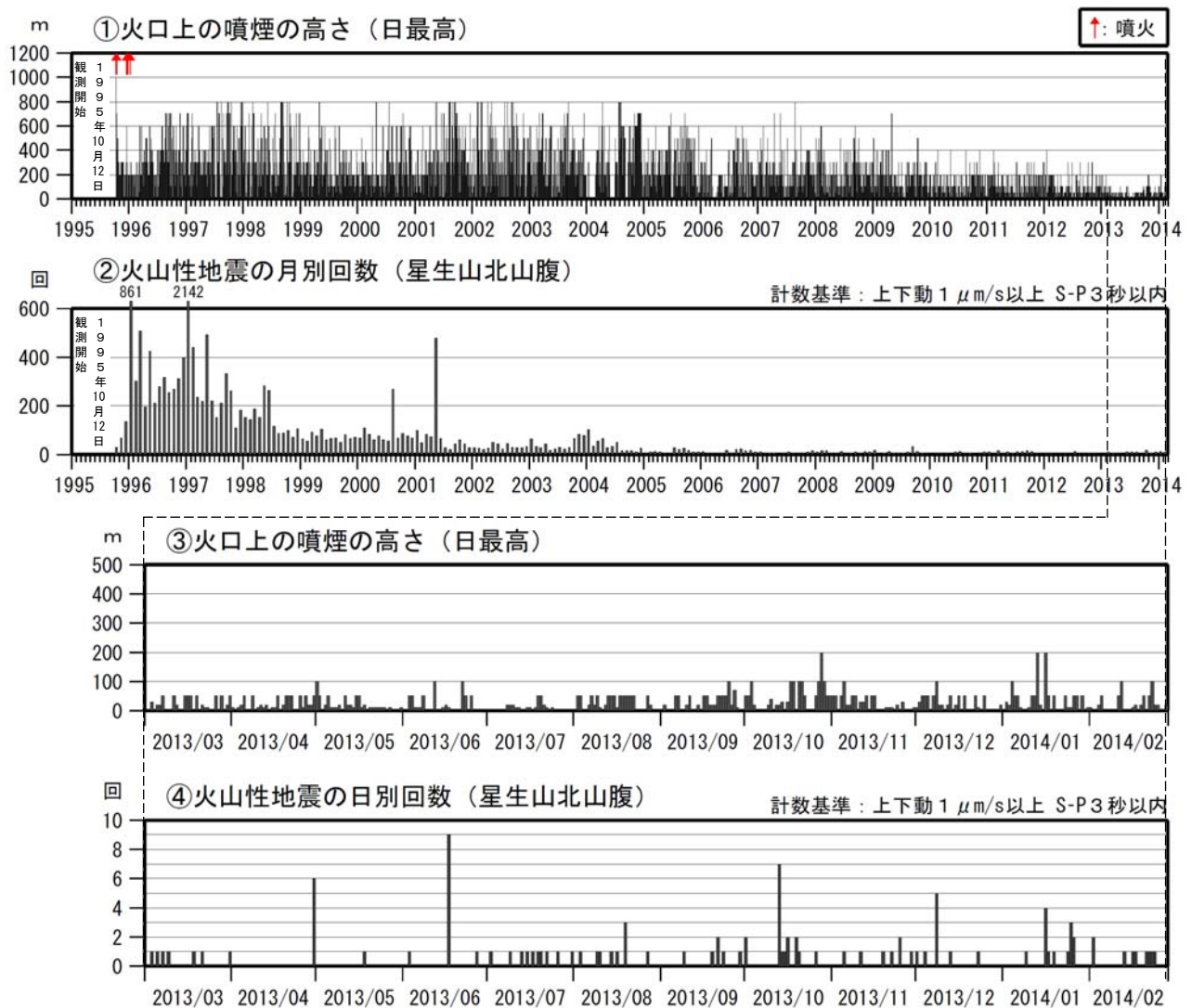


図 2 九重山 火山活動経過図（1995 年 10 月～2014 年 2 月）

< 2 月の状況 >

- ・白色の噴煙が高さ 100m 以下で経過しました。
- ・火山性地震の月回数は 9 回（1 月：13 回）と少ない状態で経過しました。

①、③の噴煙の高さは、噴煙が出ているところからの高さを観測しています。

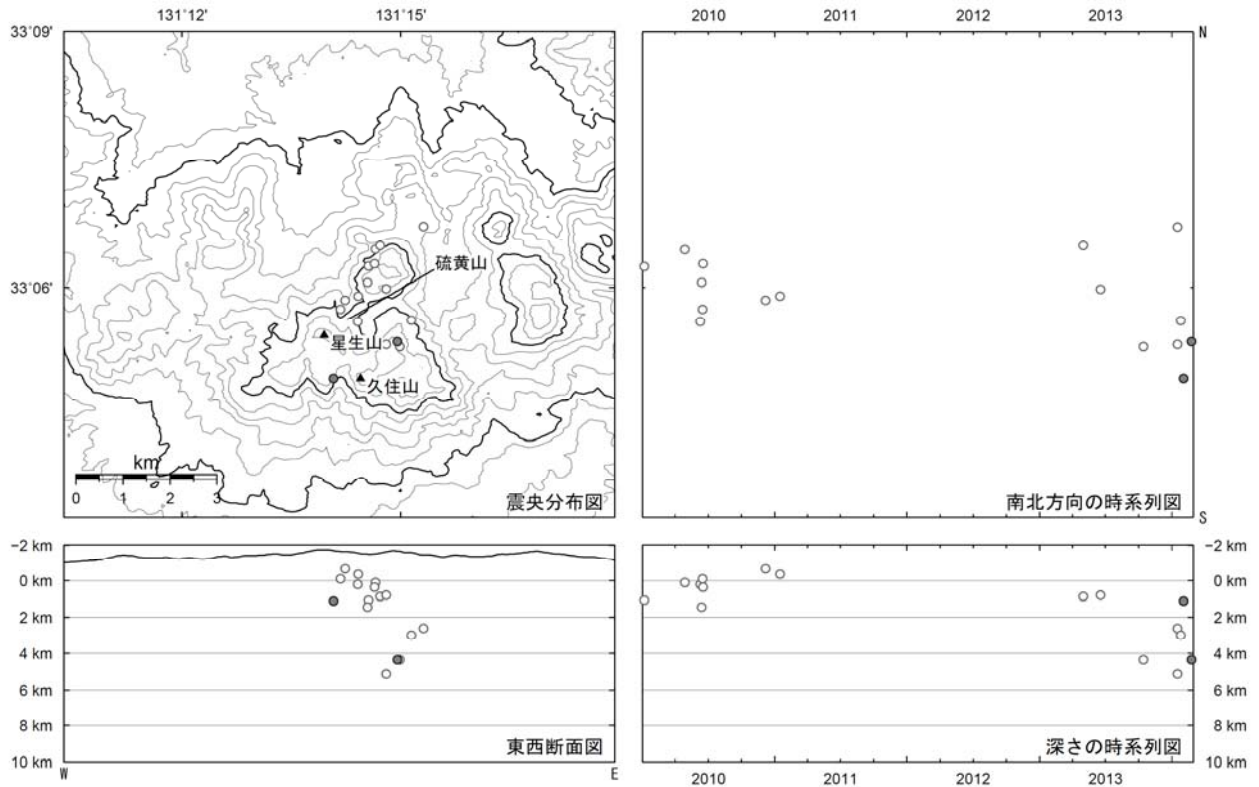


図3 九重山 震源分布図（2010年1月～2014年2月）

< 2月の状況 >

震源は、星生山の東側方向の海拔下約4 km と南側方向の海拔下約1 km でした。

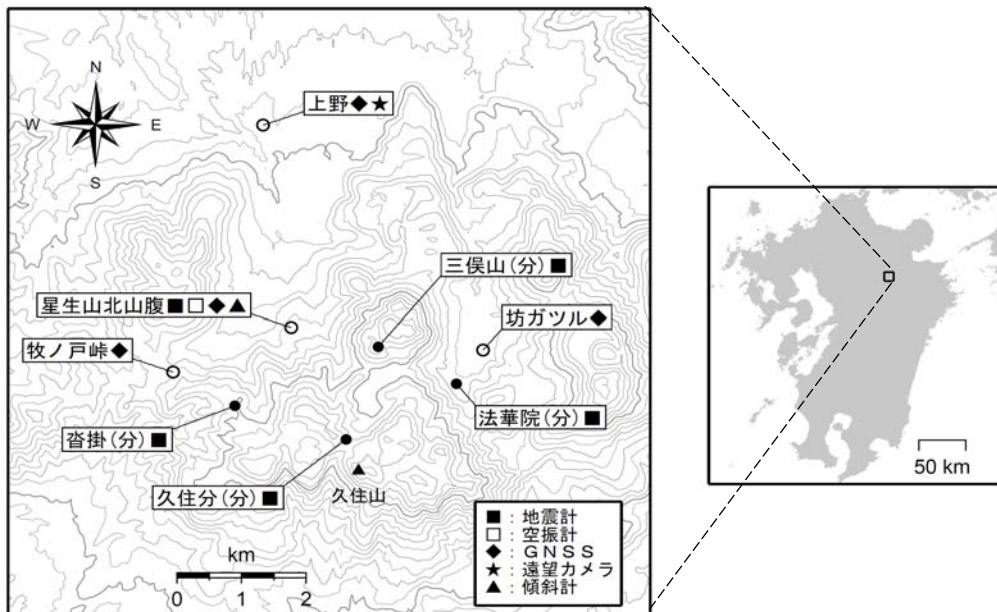


図4 九重山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（分）：大分県

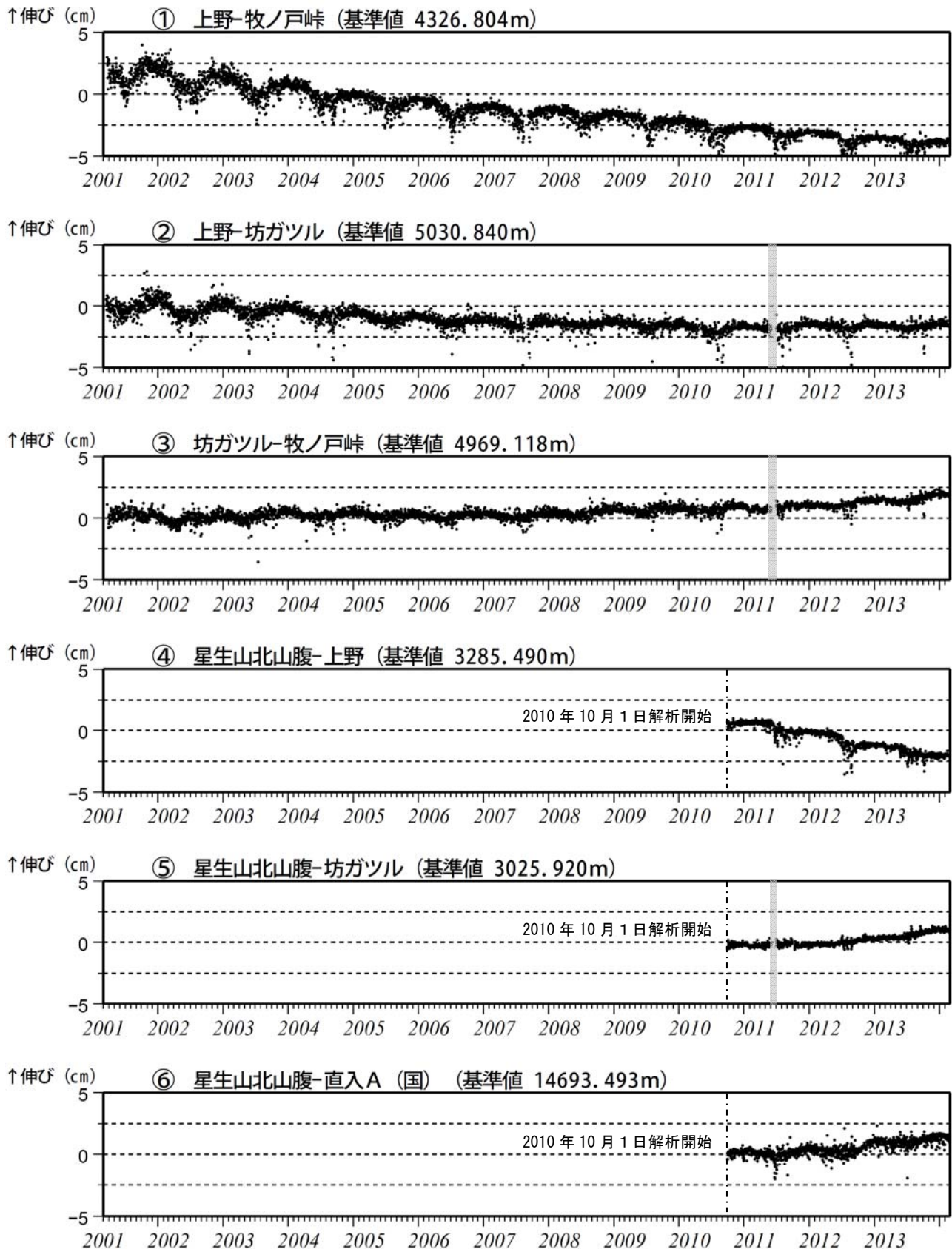


図 5 九重山 GNSS 連続観測による基線長変化（2001 年 3 月～2014 年 2 月）

GNSS連続観測では、一部の基線（坊ガツル-牧ノ戸峠、星生山北山腹-坊ガツル）で、わずかに伸びの傾向が認められます。

これらの基線は図 6 の①～⑥に対応しています。

2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

灰色部分は機器障害のため欠測を示しています。

(国)：国土地理院

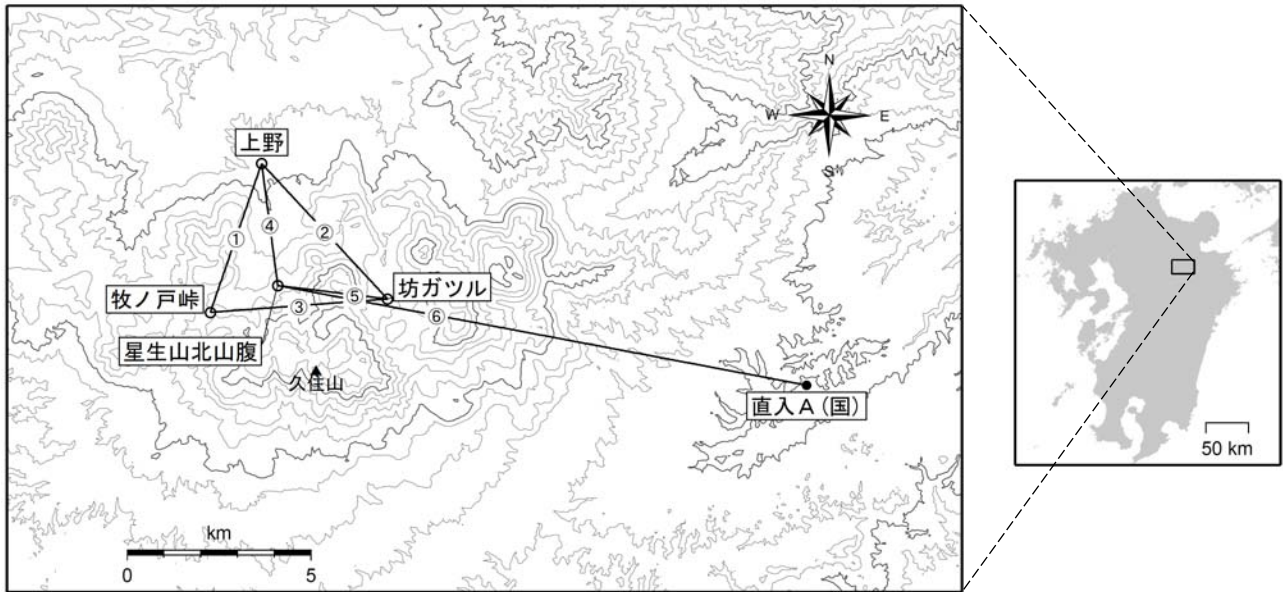


図 6 九重山 GNSS 連続観測点と基線番号

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 （国）：国土地理院